

海岸保全施設の老朽化対策【農林水産省・国土交通省】

施策概要

事後保全段階の海岸堤防等において、海岸保全施設の機能の回復を図り、修繕・更新を実施

効果

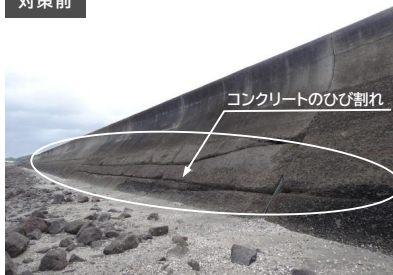
海岸堤防等の改良や老朽化対策により、維持管理費の削減や災害時の減災・防災能力が向上

全国的な対策と効果

「予防保全型の維持管理」への転換に向けて、要対策施設等の対応及びライフサイクルコストの縮減につながる取組を推進するため、事後保全段階の護岸、堤防、水門、陸閘等の修繕・更新を実施

【老朽化した護岸の修繕】

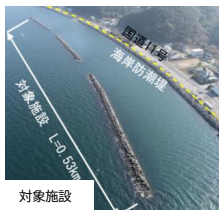
対策前



対策後



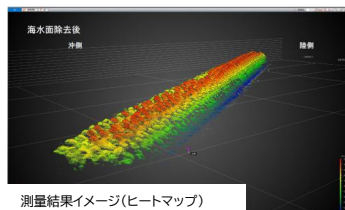
【海岸保全施設の点検・修繕等では新技術を活用】



対象施設



測量の様子



測量結果イメージ(ヒートマップ)

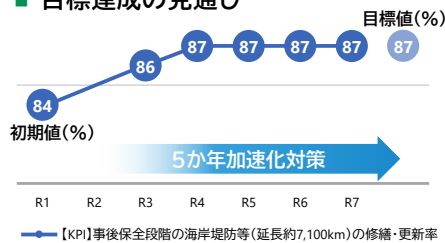
従来、測量作業員や潜水士が人力で測量していた離岸堤の沈下状況等の点検について、陸上部・水中部双方の測定が可能なグリーンレーザーを搭載したUAVで測量することにより省人化・点検期間の短縮。

■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
38億円	27億円	44億円
R6	R7	累計
45億円	45億円	198億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

■ 目標達成の見通し



整備事例

海岸堤防等の老朽化対策により、越波・浸水被害を防止する



和歌山県



和歌山県西牟婁郡白浜町



白浜海岸
海岸メンテナンス事業

■ 海岸堤防が適切に機能を発揮するよう、老朽化対策を実施

対策前



対策前: 波返工の損傷
(コンクリート打ち継ぎ目が剥離し、脆弱になっている)



海側

対策後



対策後: 波返工
(波浪に十分な耐力が発揮される状態)

海側

■ 事業費

総事業費 約4.7億円 (うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約1.3億円)

■ 事業の背景(地域の課題)

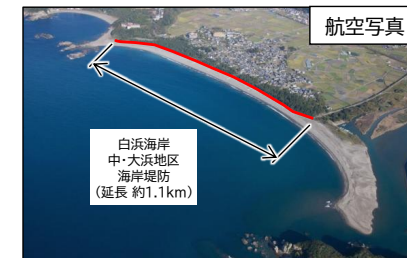
白浜海岸は、和歌山県の南部に位置し、背後には温泉施設や介護福祉施設、学校、住宅地等が近接しています。また、吉野熊野国立公園に指定されているほか、海水浴をはじめとする多様な海洋性レクリエーション活動の利用の場にもなっています。一方で、台風の常襲地帯であり、高潮や高波の被害を受けるリスクが高く、海岸堤防が築後約50年以上が経過しており、老朽化が進行していることから、海岸堤防等の海岸保全施設の機能を維持する必要があります。

■ 事業の内容

白浜海岸中・大浜地区(延長約1.1km)等において、長寿命化計画に基づき、計画的・集中的に海岸堤防の老朽化対策を実施しています。

■ 見込まれる効果

老朽化した海岸堤防等の修繕や更新を実施し、施設機能を回復することで、高潮や高波に対して、背後地への越波・浸水被害を防止することが期待されます。



航空写真

白浜海岸
中・大浜地区
海岸堤防
(延長約1.1km)

(1) 1 人命・財産の被害最小化 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(2) 交通・ライフラインの維持 インフラの老朽化対策

(1) 3 施策のデジタル化 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化